

HOYOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
(編集) 教区基推委広報部

1995. 8. 92号



申請手続について説明する松村部長

その内容は、被災状況に合わせ、各寺院に限度額を設け、一口百万円の三十ヶ月に願書受付、教務所長の進達で本山貸付審査委員会の議を経て、各寺院へ一カ月程で送金できることになり、また、今年度に限り、総局の定めるところ随時審査委員会が開かれる。過日、災害対策現地本部が、被災寺院にアンケートを実施した結果、二六七カ寺中一〇七カ寺の利用希望が分り、貸付基準表に基づき、組で希望があれば担当職員を出向させること。組内寺院の限度額や一〇七カ寺の主な調査結果については当該組長に届けることも確認された。

その他では長岡晃澄災害対策現地本部部長より、大蔵省指定寄付金について、急がれる場合は個別に相談すること。法律相談を龍谷大学教授を招き七月三十一日午後開催すること。全国から寄せられた義援金に対する礼状についてのことなどが補足されて終了した。なお、七月末日までに八カ寺が復興資金の貸付申請をしている。

(西山實圓)

阪神・淡路大震災で被災した寺院に対して、救済復興資金の貸付が、七月八日発布された「阪神大震災救済復興資金貸付基準条例」に基づいて手続が開始された。

復興貸付手続開始

八カ寺がさっそく申請

教区では円滑に事務処理が行われるよう、七月十七日に被災組の組長・副組長が神戸別院に集まり、本山の松村彰道庶務部長から申請手続きについて説明がなされた。

つき限度額を合計すると、十四億百万円である。寺院災害共済制度については(八四カ寺が加入)一口百万円で五口(五百万円)まで。五年返済。(通常三年)貸付利息は公定歩合の二分の一。貸付時期を四月十月に貸し出すことになっている。

申請の諸注意の後、質問を受け、寺院災害共済制度について建物震災で滅失してしまった状態で加入できるかどうかの検討や、修復の場合も、施工業者の見積書をとるなどが確認された。

また、組で希望があれば担当職員を出向させること。組内寺院の限度額や一〇七カ寺の主な調査結果については当該組長に届けることも確認された。

その他では長岡晃澄災害対策現地本部部長より、大蔵省指定寄付金について、急がれる場合は個別に相談すること。法律相談を龍谷大学教授を招き七月三十一日午後開催すること。全国から寄せられた義援金に対する礼状についてのことなどが補足されて終了した。なお、七月末日までに八カ寺が復興資金の貸付申請をしている。

(西山實圓)



私たちの教団は、僧俗共に真の信心の行者として生かされていく

教区だより		8・9月	
16日(水)~20日(日)	別院・教務所職員夏季休暇		
21日(月)	建設・推進財務部会	1時半	
23日(水)	建設・推進三役会	10時半	
24日(木)	第3回團長・主任研修懇談会		姫路キャッスル ホテル
25日(金)	建設・推進総務部会 建設・推進常任委員会	10時半 1時半	
27日(日)~30日(水)	九州ブロック招待サマースクール		
28日(月)	研修指導部会	2時	
29日(火)	青年僧侶の会役員会	5時	
30日(水)	建設・推進広報部会		10時半
9月2日(土)~3日(日)	中部・近畿仏道連絡協議会		岐阜
5日(火)	近畿ブロック寺婦研修会 青僧会会員交流会		滋賀 神戸市立フルーツパーク
7日(木)	別院仏婦永代経法要	1時半	杉本昭典師
9日(土)	東西真宗保育研修会		
10日(日)	仏道ブロック別研修会(姫路・西播)		穴栗組西光寺
14日(木)~16日(土)	仏婦若婦中央研修会		本山
17日(日)	仏道ブロック別研修会(阪神・神戸)		阪神北組源照寺
19日(火)	近畿地区仏婦大会		京都
22日(金)~23日(土)	別院秋季彼岸会	1時半	久堀弘義師



仕上げ工事にかかっている本堂内陣 7月28日撮影

本願寺神戸別院改築 建設工事進捗状況

本館棟は七月に入ってから、中甸頃には納骨壇も設置工事にかかる。尚、大谷本願での永代経開關法要は八月までとし、九月からは神戸別院で修行致しますが、九月のみ二十四日以降は毎月十四日の予定です。

建設費志進納総額
十六億九千八百八万八千四百五十七円(74%)
(95年7月31日現在)

播磨中組の

教区会議員かわる

播磨中組選出信徒教区会議員高嶋訓敬氏(福善寺)退任により、平成七年七月十五日、補欠選挙が施行され仲田凡夫氏(光正寺門徒)が後任となりました。

また、揖尾西組選出信徒教区会議員古寺瀧男氏(浄栄寺)死亡により、平成七年八月二十日補欠選挙が施行されます。

参議院議員に

谷川秀善氏

七月二十三日参議院議員の選挙が施行され、大阪選挙区より立候補していた谷川秀善氏(60)が当選した。大阪は三人の定数で五十二人が立候補する激戦区であったが四十七万三千三十九票を獲得した。

谷川氏は昭和三十三年大阪府庁入り、生活文化部長、企画調整部長を歴任し、平成四年から六年まで副知事を務めた。同氏は阪神西組万徳寺前住職。

敬 弔

安野薫海師(やすの・くんかい)姫路東組明源寺前住職)七月七日、七十三才で往生。葬儀は七月九日、明源寺で。「晚善院釋薫海」。昭和四十二年より平成元年まで住職在職二十二年。その間、昭和五十二年から昭和六十一年まで副組長を務めた。

足利千重さん(あしかが・ちえ)阪神東組安養寺前坊守)七月七日、八十九才で往生。葬儀は七月十日、安養寺で。「安養院釋智光」。

田近宣勝師(たじか・せんしょう)淡路組宣勝寺住職)七月八日、七十九才で往生。葬儀は七月十日、宣勝寺で。「安養院釋宣勝」。昭和二十二年より住職在職四十八年。その間、昭和三十一年から教区会議員を一期、昭和四十四年から副組長を一期務めた。

窪 富美江さん(くぼ・ふみえ)阪神東組明徳寺前々坊守)七月二十八日、七十八才で往生。葬儀は七月三十一日、明徳寺で。「明智院釋尼富耀」。

